

秋田大学 感染統括制御・疫学・分子病態研究センター

Center for Integrated Control, Epidemiology and Molecular Pathophysiology of Infectious Diseases (CICEMPID, Akita U)

組織図



秋田大学では、感染制御、感染分子疫学解析、予防戦略と対策を秋田県内関係機関と積極的に共有・還元しながら高レベル感染症対策に従事する医療人材を育成し、感染制御ネットワークの「司令塔」として秋田県全体の感染症対策基盤を強化することを目的として、「感染統括制御・疫学・分子病態研究センター」を令和5年5月に開設しました。

センターに設置する感染統括制御部門、感染症疫学部門、感染分子病態研究部門の3部門において、それぞれの専門性に根差した研究を進めておりますが、これまでのセンター活動の総括として、各部門の感染症に関する研究成果を発信するシンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムを通じて、秋田県全体を包括する感染制御ネットワーク体制の更なる強化を図ると共に、秋田県内で感染症対策の幅広さや感染症研究の意義の大きさへの正しい理解と関心が更に深まる契機となることを狙いとしております。

日時 令和7年2月2日(日) **〈開場〉**12:00
12:30~16:00

会場 秋田キャッスルホテル
4階 放光の間 秋田市中通一丁目3-5

対象 地域住民の皆様、医療関係者、行政関係者、秋田大学教職員・学生

定員 会場参加▶200名、オンライン視聴▶100名
※会場参加、オンライン視聴、いずれも先着順となります。

申し込み お申し込みはこちらから

オンライン同時配信 Web会議システム Zoomによる配信

参加無料 要事前申込

申込受付期間 令和7年1月24日(金)17:00まで
※申込受付期間終了前でも、定員に達した場合は締切といたします。予めご了承ください。

基調講演

講師 **佐々木 昌弘** 様 厚生労働省 大臣官房 危機管理・医務技術総括審議官

座長 **羽瀨 友則** 秋田大学大学院 医学系研究科長

次のパンデミックに向けた政府の取組

センター各部門の活動発表

- 01 感染統括制御部門 部門長 **嵯峨 知生** 秋田大学医学部附属病院 病院教授/感染制御部長
- 02 感染症疫学部門 部門長 **野村 恭子** 秋田大学大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座 教授
- 03 感染分子病態研究部門 部門長 **海老原 敬** 秋田大学大学院医学系研究科 微生物学講座 教授

パネルディスカッション

テーマ **3年に及ぶコロナ禍の経験を元に、
私たちが備えるべきことは何？**

(主催)秋田大学感染統括制御・疫学・分子病態研究センター (共催)秋田大学大学院医学系研究科、秋田大学医学部附属病院

お問い合わせ **所在地** ▶ 〒010-8543 秋田市本道1丁目1番1号
秋田大学 感染統括制御・疫学・分子病態研究センター **TEL** ▶ 018-801-7178 **E-mail** ▶ k-center@jimu.akita-u.ac.jp

新興・再興感染症に備えよう

コロナ禍の経験と今後の課題

新興・再興感染症に備えよう
～コロナ禍の経験と今後の課題～

プログラム

- 12:30 ▶ **開会・開会挨拶**
秋田大学長 南谷 佳弘
- 12:40 ▶ **趣旨説明**
秋田大学感染統括制御・疫学・分子病態研究センター長 尾野 恭一
(秋田大学 理事(総括・研究・地方創生・広報担当)・総括副学長)
- 12:50 ▶ **基調講演**
「次のパンデミックに向けた政府の取組」
厚生労働省 大臣官房 危機管理・医務技術総括審議官 佐々木 昌弘 様
- 14:00 ▶ **センター各部門の活動発表**

- パネルディスカッション**
「3年に及ぶコロナ禍の経験を元に、私たちが備えるべきことは何？」
- ・厚生労働省 大臣官房 危機管理・医務技術総括審議官 佐々木 昌弘様
 - ・一般社団法人秋田県医師会 常任理事 武田 修様
 - ・公益社団法人秋田県看護協会 感染管理認定看護師 阿部 亜矢子様
 - ・秋田県 健康福祉部 保健・疾病対策課 チームリーダー 滝本 法明様
 - ・秋田大学医学部附属病院 病院教授/感染制御部長/感染統括制御・疫学・分子病態研究センター 感染統括制御部門長 嵯峨 知生
 - ・秋田大学大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座 教授/感染統括制御・疫学・分子病態研究センター 感染症疫学部門長 野村 恭子
 - ・秋田大学大学院医学系研究科 微生物学講座 教授/感染統括制御・疫学・分子病態研究センター 感染分子病態研究部門長 海老原 敬
- 〈コーディネーター〉秋田大学医学部附属病院長 渡邊 博之

- 15:50 ▶ **開会挨拶**
秋田大学大学院医学系研究科長 羽瀨 友則
- 16:00 ▶ **閉会**

申し込み方法

申込受付期間 令和7年1月24日(金) 17:00まで

会場参加

オンライン

事前登録のため、以下のアドレスにアクセスいただくかQRコードを読み取って参加申込をお願いします。
※申込受付期間終了前でも、定員に達した場合は締切といたします。予めご了承ください。

参加申込フォームURL <https://forms.office.com/r/nH7TDz7Dr> **会場参加** <https://forms.office.com/r/d5x87xd3s7>

WE-AID

- “秋田の感染症に知恵を出し合う会”
 - Wisdom Exchange on Akita Infectious Diseases
- 定期的webミーティング+メーリングリストで検討
 - 2023年12月に初回開催 以後月1回開催
- 構成員
 - 行政：秋田県健康福祉部、秋田市保健所、秋田県健康環境センター
 - 秋田県医師会・秋田県歯科医師会・秋田県薬剤師会
 - 秋田県感染対策協議会
 - CNIC（感染管理認定看護師）
 - 旧ACOMAT（秋田コロナ医療支援チーム）
 - 秋田大学（感染統括制御・疫学・分子病態研究センター）

令和6年度 新興感染症対応人材育成事業

秋田県・秋田大学・秋田県医師会
秋田県看護協会・秋田県感染対策協議会 主催

秋田県感染制御指導者育成研修

対象 感染制御の業務に携わる医療従事者
(医師、保健師、看護師、薬剤師、管理栄養士等)

参加費無料
先着20名様
(事前予約制)

- [県北] ▶▶▶ 10月4日(金) 沢口公民館(沢口林業センター)
(北秋田市臨神太田表22-1)
- [県央] ▶▶▶ 9月28日(土) 秋田市保健センター
(秋田市八橋南1丁目8-6)
- ▶▶▶ 11月 8日(金) 遊学舎
(秋田市上北手荒巻字堺切24-2)
- [県南] ▶▶▶ 9月30日(月) 金沢地区交流センター孔城館
(横手市金沢中野字長持213番地1)
- 開催時間 PM1:00~PM4:30

- 事前研修:オンデマンド配信による受講 ※理解度確認テストあり
感染制御、感染症診療、標準予防策、ゾーニング、施設支援の実際、感染症の発生動向
- 実地研修:各会場における実践トレーニングを含めた受講
手指衛生、PPE着脱訓練、社会福祉施設等のクラスター対応を想定したグループワークなど

研修終了後修了証書を交付します

詳しくはこちら

美の国あきた Webサイト

https://origin.pref.akita.lg.jp/admin/archive/edit/83759?temp_id=56061



お問い合わせ

秋田県保健・疾病対策課 健康危機管理チーム TEL018-860-1427

秋田県・秋田大学・秋田県医師会
秋田県看護協会・秋田県感染対策協議会 主催

秋田県社会福祉施設等感染症 対応力向上推進者養成研修

対象 各管内社会福祉施設等の職員
(自施設で感染症を担当する方)

保健所	開催日
大館	11月15日(金)
北秋田	11月29日(金)
能代	10月25日(金)
秋田中央	12月20日(金)
由利	12月 3日(火)
大仙	12月 6日(金)
横手	10月30日(水)
湯沢	10月22日(火)
秋田市	11/26(火), 12/7(土)



参加費無料
各会場先着
50名様
(事前予約制)

- 事前研修:オンデマンド配信による受講 ※理解度確認テストあり
感染制御の概観、標準予防策とPPEの着脱、ゾーニングの基本、施設支援の実際
- 実地研修:各会場における実践トレーニングを含めた受講
手指衛生、PPE着脱訓練、社会福祉施設のクラスター対応を想定したグループワークなど

研修終了後修了証書を交付します

お申し込み

各管内保健所から別途案内があります

美の国あきた
Webサイト



お問い合わせ

秋田県保健・疾病対策課 健康危機管理チーム TEL018-860-1427

◆ 秋田大学の役割 ◆

確かな専門性に根差した「司令塔」としての 秋田の感染症対策基盤強化への一層の貢献

◆ 秋田が取り組むべき「5つの課題」とそのキーポイント ◆

- (1) **新興感染症**：非加算医療機関、診療所、社会福祉施設／非専門スタッフ、学生・研修生
- (2) **災害時感染対策**：災害が長期化した際の避難所対応、平時からの備え
- (3) **抗菌薬適正使用**：経口薬・診療所へのアプローチ、アウトカム評価(感染症予後、耐性率)
- (4) **インバウンド／アウトバウンド**：輸入感染症の診療体制／渡航医学の認知度向上
- (5) **先進遺伝子解析技術**：次世代シーケンサの有効活用、臨床検査としての標準化の推進

◆ ネットワークの構築と活用 ◆

- ・核：**WE-AID**(秋田の感染症に知恵を出し合う会)
- ・加算医療機関の管理者-現場担当者
- ・病院-診療所
- ・健康環境センター・秋田市保健所-医療機関-大学
- ・社会福祉施設等とその代表団体等
- ・秋田DICT(災害時感染制御支援チーム)-行政



◆ 教育・啓発・人材育成 ◆

- ・地域に貢献する専門医療人材の育成
- ・非専門者からの指導者・リーダー人材の育成
- ・オンデマンド研修の提供体制の整備
- ・研修の質保証：認証制度、レビュー体制
- ・各種研修の計画共有と最適化
- ・県民参加・現場重視でのノウハウ蓄積促進

◆ 秋田発の感染症エビデンスの創出と蓄積 ◆

- ・秋田からの発信：秋田の取組や研究の成果の学会発表・論文報告の推進
- ・県民への還元：県内への成果発信、県内のノウハウ蓄積・先進的感染制御へのリテラシー向上